

## オーソパレット

### 【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

### \* 【形状・構造及び原理等】

#### [構成]

構成	性状	成分
粉	粉	MMA - EMA 共重合体、その他
液	液	MMA、その他

色調: ①粉: クリアー、イエロー、ブルー  
②液: クリアー、ピンク

#### \* [原理]

本材は、常温重合レジンで、粉液を混合することにより重合硬化する。

### 【使用目的又は効果】

プラスチック又はレジン系材料によって歯列矯正用の装置を製作するために用いる。

### 【使用方法等】

#### [本材と併用する材料]

- 1) 歯科用硬質石こう:  
「松風モデルストーン」、「松風ヒドロギプス」
- 2) 石こう分離材: 「ポアアーパニッシュ」
- 3) 歯科金属用接着材料: 「メタルリンク」

#### [本材に使用する機械及び器具]

歯科技工用重合装置: 「フィットレジン マルチキュア」

#### [使用方法]

- 1) ふりかけ法
  - ①あらかじめ、石こう面に分離材を塗布し、乾燥します。
  - ②本材の粉を薄くふりかけ、付属のスプイトで本材の液を粉に浸潤させることにより、全体に行き渡らせます。
  - ③この操作を繰り返し、面積を広げるとともに必要な厚みを確保します。
  - ④拡大ネジ(エクспанションスクリュー)等を埋入する場合は、餅状になる手前で埋入し、窪んだ部分にふりかけ法又は筆積法によりレジンを追加します。
  - ⑤餅状になれば、指で圧接することにより必要な厚みに整え、余剰な部分をトリミングします。
  - ⑥気泡の発生を最小限に抑えるために、歯科技工用重合装置(フィットレジン マルチキュア、又はこれと同等の機能を有する機器)を使用し、0.2MPa、40~50℃温水中で、10分間加圧重合します。

※常温大気圧下でも重合可能であるが、より気泡が少なく透明性の高い硬化物を得るために、加圧重合を推奨します。

⑦通法に従い、研磨仕上げを行います。

- 2) 混和法(スプレッド法)

- ①あらかじめ、石こう面に分離材を塗布し、乾燥します。
- ②混和器に本材の液を入れ、次に本材の粉を、液の浮き上がりがなくなるまで、ゆっくりと投入します。
- ③粉と液が均一になるように、スパチュラで静かに数回混和します。
- ④少し粘性が上がり、泥状になったところで、石こう模型上に築盛します。
- ⑤指で圧接することにより必要な厚みに整え、余剰な部分をトリミングします。

⑥歯科技工用重合装置(フィットレジン マルチキュア、又はこれと同等の機能を有する機器)を使用し、0.2MPa、40~50℃温水中で、10分間加圧重合します。

⑦通法に従い、研磨仕上げを行います。

- 3) 筆積法

- ①あらかじめ、石こう面に分離材を塗布し、乾燥します。
- ②通法に従い、筆積み操作を行います。
- ③必要があれば、指で圧接することにより必要な厚みに整え、余剰な部分をトリミングします。
- ④歯科技工用重合装置(フィットレジン マルチキュア、又はこれと同等の機能を有する機器)を使用し、0.2MPa、40~50℃温水中で、10分間加圧重合します。
- ⑤通法に従い、研磨仕上げを行います。

なお、矯正装置に使用する金属ワイヤー及び金属アタッチメントは、あらかじめ「メタルリンク」を用いて前処理をすること。

#### [使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) 液は使用後、速やかに蓋を閉めること。
- 2) 粉及び液は、皿に必要な量を取りだして使用すること。なお、余剰分は元に戻さないこと。
- 3) 完成したレジン は口腔内に装着するまで水中に保存し、残留モノマーを溶出させること。

### 【使用上の注意】

#### [重要な基本的注意]

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本材の液成分にはメタクリル酸系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の場所で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。
- 5) 本材の液は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 6) 本材を使用する際には、適切な換気(1時間当たり数回の換気)がなされている場所で使用すること。
- 7) 本材を用いた硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
- 8) 本材の液又は液と粉の混和物は皮膚に付着させたり、目に入らないよう注意すること。皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### [保管方法]

- 本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、室温(1~30℃)、暗所で保管すること。
- 本材は、同一場所に多量に保管しないこと。
- 本材の使用場所及び保管場所には消火装置を備えること。
- 本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号	075-561-1112